

「常備消耗品の購入ガイドライン」の例

常備消耗品の購入は購入ガイドラインに従い、総務が在庫管理および購入（運営委員会において購入提案の事前承認は不要）し、運営委員会で事後報告とする。

①保有目安を定めるもの

常備消耗品	維持下限数
コピーカード（運営委員会用）	¥3,000円分
コピー用紙A4	5包（250枚×5）
コピー用紙A3	5包（250枚×5）
プリンターインク（各色）	1セット
プリンターインク（黒色）	2個
ホワイトボードマーカー（黒色・太字）	3個
ホワイトボードマーカー（黒色・中字）	3個
ホワイトボードマーカー（赤色・太字）	3個
ホワイトボードマーカー（赤色・中字）	3個

※ **最大の在庫個数の目安**（各品目の購入限度額）は、維持下限数の2倍を超えない範囲とする。

②保有目安を特に定めのないもの（必要に応じて購入）

ボールペン・えんぴつ・シャープペン・シャープペンの芯・消しゴム・定規・封筒・はさみ・カッター・クリップ・ステープラー・ステープラーの芯・のり・セロハンテープ・養生テープ・マグネット・ホワイトボード消し・クリアファイル・朱肉・収納容器（高価でないもの）

※上記の消耗品は、必要に応じて購入ができる（類似品も含む）。
（最大の在庫数の目安は定めないが、使用済み数に応じて補充する程度）

会計のひきつぎ

(2021年2月27日)

① 引き継いだもの

- ・ 現金出納帳
- ・ 領収書台帳
- ・ 会費の納入書の控え
- ・ 現金

② 引き継ぎ内容

- ・ 領収書に現金出納帳と同じ番号を振る。
- ・ 領収書は科目ごとに台帳に貼り付ける。
- ・ 保管は「会計関係の書類」はロッカー(No. 66)、「現金」は財団金庫(会計担当者が、財団の岡本さんに依頼して預ける・取り出す)。
- ・ 小型金庫の購入については運営委員会に提案する。(検討中)

③ 「購入提案書 兼 出金伝票」を使った、購入提案から出金までのプロセス

1. 「購入提案書」にて提案
2. 会計は、現時点の残金の報告
3. 運営委員会で承認(担当班が「購入提案書」に承認印)
4. 担当班が会計に「購入提案書(承認印済み)」を渡す
5. 運営委員会終了後に購入担当者は会計からお金をもらう(または立替購入の相談)
※運営委員会の後30分間に支払い(前払いか後払いかの相談・前払い)
6. 次回の運営委員会の前に精算(領収書を渡す・残金を返すまたは立替分の後払い)
※運営委員会の前30分前に購入報告(領収書と残金返却・後払い)

④ 常備消耗品の購入は、購入ガイドラインに従い、総務が在庫管理および購入し(事前承認は不要)、運営委員会で事後報告とする。

※目的は、事務作業で使用する消耗品において都度承認の手間を省くため。使用したい時に、補充できていない(即時購入できるようにする)ということもなくすため。

2020年度第8回こむ1会運営委員会 会議録

日時：2021年4月10日(土)・13時30分～15時30分 場所：3階フリールーム

議事進行・記録担当：C班

A班 東(自然保護協会)・篠原(宝塚家族会)・大西(手話さわやか)・欠(一致バラバラ)・欠(うらら宝塚)

B班 榎本(個人)・中下(エリアナウス)・欠(おもちゃの診療所)・欠(ゆめふうせん)・欠(つながりづくりネット)

C班 三島(個人)・出口(テーブルライブラリー)・中小路(個人)・高原(情報ボラネットワーク)・角田(紙芝居研究会)

D班 原(ランチボックス)・油井(個人)・太田(おあや座)・岡田(専心会)・佐々木(武庫川流づくりと域連携)

E班 欠(村中)・欠(6地区民児連)・横山(三線ていんがーら)・松崎(歌楽多笑一座)・欠(武庫川ネットワーク)

岡本(財団)・沼田(ボラセン)

参加：稲田・金子・平山

<<報告>>

1. 会則ワーキングチーム(原)

3月運営委員会より承認を受け発足、3月24日と4月1日の2回会議を行った

話し合いの中で財団から「基本理念に関する部分はできるだけ触らないで欲しい」との要望があり、その点を

すり合わせて今後の作業を進めていく

次回4月17日(土) 今後改善すべき項目をリストアップして作業を行っていく

2. 宝塚福祉コミュニティプラザ連絡会より(原)

各団体から報告があったが、こむ1会にかかわる内容はなかった。メインテーマである掲示板運用については

後ほど財団岡本さんより報告していただきます

3. 受付ボランティア会議(榎本)

添付資料(受けボラ会議議事録)

受けボラ会議は、こむ1会から最大2名まで参加可能、参加し受けボラの皆さんと顔なじみになってください

次回5月29日(土) 13:30～15:30 参加希望の方連絡してください

4. 宝塚セーフティネット会議(榎本)

生活応援センターに多くの相談、支援の問い合わせが増えている(市民100人に1人の割合)

仕事を見つけることが難しい状況で、融資を受けている人が今後どのように社会復帰していくかが問題

4. 宝塚市社会福祉協議会(榎本)

令和3年度の資金収支予算・事業計画などが報告された

新たに24時間体制のヘルパー事業が始まり、在宅で生活していく環境が少し整いつつある。

5. ふらっと☆ぶらざ新規参入承認について(東)

登録グループが館内で自分たちの活動資金のため利用するのはこむ1施設のルールと合わないと言明

当事者グループから「収益を寄付するかどうか話し合いもできていないので今回は見送る」と回答があった

6. 会計より（高原）

前年度より会計業務の引継ぎを終了し、現在の残高は 263,379 円

7. ボラセンより

添付資料

8. 財団より

添付資料

- ・コミュニティ内の掲示板（5カ所）については、コミュニティ連絡会の共同管理とする
掲示板を4施設4分割とし施設ごとで管理する。（但し明確な線引きはしない）
5カ所の掲示板はマグネットで貼れるように改善しカギを付けた
- ・受けボラ会議は月2回行い、仕事の改善・人材の育成・チームワーク作りなどを目的として、いろいろな話し合っている。こむ1会からの参加人数を2名としたが、互いに協力してやっていきたい

<<承認>>

1. 総務が購入する常備消耗品費の事後承諾について

- ・承認された

2. 機材購入（ボイスレコーダー・Zoom機材）について

- ・こむ1会が有するものであれば賛成。但し使用に制約をかけない
- ・Zoomの必要性は理解するが実際に会議を進行していくうえで運用ルールは必要だと思う
上記の意見を踏まえ承認された

<<議案>>

1. 今後の事業計画見直しについて

- ・事業計画の整理に関する資料のNo1～No20の事業で今やるべき項目を各班報告
- ・今すぐ実行できる事業、議論し内容を検討する事業に分類する
- ・個別に受けているものや、すでに次年度継続しているものも有り回答しなければならないものも有るが

こむ1会として出席しなければならないかを明確にし、正式に書面で依頼してもらう

2. ワーキングチーム立ち上げについて

- ・会員とつながり活動するワーキングチームをたち上げ、運営委員が核となり各グループに呼びかけ進めていく

「大掃除大会」（発起人募集中）

「消防避難訓練」：三島・油井・中小路

「広報」：東・村中・中下

- ・こむ1通信・こむ1会のホームページ・こむ1会の掲示板の管理等

<<次回に持ち越し>>

- ・外部からの依頼等の窓口について

・クッキングルームの利用について

次回運営委員会 5月10日(月)13:30~15:30 3階フリールーム(担当:D班)

2020年度第7回こむ1会運営委員会 2021年3月10日(水)13:30~16:00(延びました)

3階フリールーム議事進行:B班-司会 中下、書記 榎本

運営委員: A班-東(自然保護協会)、篠原(宝塚家族会)、大西(手話さわやか)、欠(一致バラバラ)(うらら宝塚) B班-榎本(個人)、中下(エリアナウス)、欠(おもちゃの診療所)(ゆめふうせん)(つながりづくりネット) C班-三島(個人)、出口(テーブルブラリー)、中小路(個人)、高原(情報ボラネットワーク)、欠(絵芝居研究会) D班-原(ランチボックス)、油井(個人)、太田(おあや座)、岡田(専心会)、佐々木(武庫川流域連携) E班-村中(個人)、小島(6地区民児連)横山(三線でいんがーら)、松崎(歌楽多笑一座)、山本(武庫川ネットワーク)

参加: 岡本(公財プラザ・コム)、沼田(ボラセン)、稲田、金子、平山

<<連絡・報告>>

- 1.宝塚福祉コミュニティ連絡会について(三島)添付資料①
- 2.受付ボランティア会議について(榎本)添付資料②
- 3.会則ワーキングチーム結成について9人で発足。会則の根幹の変更ではなく実情に合わない文言を是正する。
- 4.チラシ掲示板について館内放送について添付資料③④
- 5.運営委員会の日時の確認について→毎月10日13:30~15:30
- 6.班の仕事=一斉送信のマニュアル完成(原)添付資料⑤
- 7.ボラセンより添付資料⑥
- 8.財団より(岡本)添付資料⑦

<<承認>>承認を進める前に(東)→運営委員会で諮る議題については各々が運営委員の立場でこむ1会の事を考え議決に望んでください。

- 1.3階フリールーム承認について参考資料⑧⑨(これは3階フリールームで使われる方への注意書です。)

3階のフリールーム(登録グループ以外)が申請する時は、利用申請書にかいてある利用審査基準 利用条件…利用目的が、社会的課題に取り組む内容であること。に則していることが求められます。

利用申請 添付資料⑩→ESPACE 宝塚は承認されました。

- 2.ふらっと☆ふらざ新規参入承認について 添付資料⑪

新規参入承認は登録グループより出されました(資料なし)が、申請目的がグループの活動費と記されていた事に、(公財)プラザ・コム(岡本)より館内での登録グループの活動費目的の物販は認めていない。フェスティバルなどのイベントに限り許可していると説明を受けました。この新規参入申請は差し戻しとなりました。

- 3.購入希望提案について 添付資料⑫**説明のみ、次月持ち越し**

<<議案>>

- 1.今後の事業計画について

a)外部会議出席に関して(榎本)なぜこむ1会で担わなければならないのか→(公財)プラザ・コムの「すべての人にとって暮らしやすい街や社会を、市民の手で、実現していく」の理念の元集まったボランティアグループであり、尚且つこむ1会の目的「本会はふらざこむ1のコミュニティづくりに参画し、ボランティア活動を通じて、誰もが住みやすい街や社会づくりに寄与することを目的とする」を持っているセルフヘルプグループや正に社会福祉であるグループ始め様々なボランティアグループの集合体は他にないから**説明のみ、次月持ち越し**

b)c)ワーキングチームの提案(東)今後事業を考える際に自由に発起出来れば良いのではないか?例えば大掃除もそうだし、次の議題である外部の窓口も種類によってワーキングチームがあれば良いのではないか?→どんな窓口業務があるのかわからないので今までどんな事があったか示して欲しい**説明のみ、次月持ち越し**

次回連絡会議は3月27日(土)10:00~12:00 議題提案等はこの日までに提出お願いします。

次回運営委員会は4月10日(土)13:30~15:30 3階フリールーム

(2020年度6回) こむ1会運営委員会 会議録

日時場所：2021年2月10日(水曜)・13時30分～15時40分・21AB会議室

委員：A班：東(自然保護協)・篠原(家族会)・大西(手話さわやか)・欠(一致バラばら)・欠(うらら)

B班：榎本(個人)・中下(エリアナウス)・欠(おもちゃの診療所)・欠(ゆめふうせん)・欠(つながりづくり)

C班：三島(個人)・出口(テープライブラリ)・中小路(個人)・高原(情報ボラネット)・角田(絵芝居)

D班：原(ランチボックス)・油井(個人)・太田(おあや座)・岡田(専心会)・吉田(づくり流域連)

E班：欠(個人)・小島(6地区民児協)・伊藤(ていんがーら)・松崎(歌楽多笑一座)・山本(武庫川流域圏)

参加：岡本(財団コム)・沼田(ボラセン)・稲田(個人)・金子(ばーばら)・平山(個人)

担当：A班

1. 議題

① 班の仕事(案)について

案の説明があった(別紙資料)。担当班は、運営委員会の当日の準備・議事進行・記録、会議録の校正および作成、一斉配信(会議から概ね1週間後)をすることが決まった(資料内の項目①～③)。

先月の提案を受けて、運営委員会でZOOM(遠隔会議システム)の併用を目指していく。ZOOM機材の設置を誰もができるようにするため、担当班の前後の班で教え合いや準備を手伝う、マニュアルをつくりながら行うことになった。

運営委員会の座席配置は次回改善案で実施、会議録の雛形づくりには2月の会議録を土台にするなど、その他の不都合が出たときには、今後も改善しながら行っていくことになった。

こむ1会への問い合わせの受付窓口を担当する月内の班長が担う提案については、次月に持ち越し検討となった(資料内の項目④)。問い合わせ先の基本はこむ1会のメールアドレスだが、電話やボラセン等の窓口からもあり、従来は代表がすべての受付窓口を担っていて負担が大きく、代表を引受けたくないという原因にもなっていることを改善するための提案だったが、議論する時間が不足。

② 会計について

先月より持ち越しの議案、会計の選出が呼びかけられた。これまでの会計の仕事内容を、旧会計の平山さんより説明があり、東さんより会計の仕事の負担を減らす提案がなされた(別紙資料)。

会計の仕事は「現金の出し入れの管理のみを担当する、入出金がある場合は運営委員会の終了後に行なう(月1回)」として、備品購入などの判断および承認(承認サインは担当班)や会費の未納者対応は運営委員会で行ない、各実行委員会やイベントなどの会計は行わない(各実行委員会内で会計役を選出するべきとの意見)。

現時点より会計の仕事内容を改善することが決定されたことで、中下さん、高原さんの立候補があり、全会一致で決定した。

③ 新型コロナ対策について

ぷらごこむ1利用者として自分たちでできるコロナ対策を考えていってはその提案があった。感染予防の対策として、換気を推奨する仕組み(1時間毎に館内放送で換気呼びかける)、会議室内での手指の消毒(手指用毒用アルコールを人数分の貸出配布)の提案があったが、すでに実践しているグループもあるので各グループに任せてはどうかとの意見があり、決定事項はなし。

次回以降も提案や意見等があれば検討していくことになった。

④ 今後の事業計画について

今年度はどのような事業および体制をやるのか早期に決めるべきではとの意見があり、「こむ1会で今急いでやるべきこと、重要なことを、これまでの事業計画の中から選んで検討する」ために、各班内で次回会議までに意見をまとめておくことになった。

これまで行ってきた事業内容について、総務の原さんより説明はあったが、議論する時間が不足。

⑤ こむ1会の会則の見直しについて

会則の見直しについて提案があがっており、ワーキングチームを立ち上げることが決まった。メンバーを決めたいので「会則の見直しに関心のある人（運営委員会以外も含めて）を募集します。希望者はこむ1会のメール等で連絡してください」、会議の日程や頻度は未定。

⑥ チラシの掲示作業について

担当者がいないので、今後どのようにするのかを、次回検討する。

⑦ その他

(ア) 運営委員会の開催日について

毎月10日の開催に決定した。提案としては、毎月1日または月末、曜日または週の固定をする意見もあった。

(イ) 備品等の購入提案

・手指消毒用のアルコール（否決）

コロナ対策のため：運営委員会の会議用に30人分の手指消毒用アルコールの購入提案があったが、各自が持参すれば良いとの意見があり、否決となった。

・ボイスレコーダー（次回検討）

会議の負担軽減等の改善のため：議事録作成時の作業負担を減らすためのボイスレコーダーの購入提案があったが、各自が持参すれば良い、使用の必要性がないとの意見があり、次回検討へ持ち越しとなった。

(ウ) 今後の運営委員会内の議論の進め方

会議の予定時間を超えても議案事項が残っており、会議の進め方を考える必要がある。議案について、運営委員会より事前に各自の意見、班内で意見をまとめて、持ち寄るなどして意見の集約を効率的に行っていくことに決まった。連絡会議で次回の議案の整理ができれば班長等を通じて、意見を考えてくるべき内容の連絡を行う。

2. 報告・連絡

① 財団より報告連絡

別紙資料のとおり説明。ぷらざこむ1内の照明をLEDに交換した。正面玄関内の掲示物用、3階ステージ用にLED照明を増設した。緊急事態宣言発令後のぷらざこむ1は、閉館時間を20時にしている。数グループで活動休止の連絡があるなど、会議室の利用は減っている（1日に0～3グループ）。感染対策で会議室の窓を開けると暖房が効かないので、窓を閉めて、換気扇を回すことをお願いしている。電気の使用量が、3階使用時に最大電力が160KW以上になった（過去最大は120KW）ので3階の暖房温度を23℃の低め設定にしているが、使用量が多い時は1階の暖房を切り、3階は21℃設定にする。電力使用量140KWぐらいいは許容しようと考えている。

② ボラセンより報告連絡

ボランティア活動活性費助成の実績報告会（2月27日）は中止するが、映像配信やDVDの配布予定。基本助成の申込締切は2月28日。報告書の準備をそろそろ始めてください。

③ 「連絡会議について」の検討した内容の報告

連絡会議の進め方が未設定であったため、各班長・副班長で相談し、以下のように決定した。

目的：運営委員会の議案、報告・連絡事項の時間配分を調整する会議

構成：運営委員会の各班から最低1名、財団、ボラセン、（その他、提案者、報告者など）

頻度：運営委員会の前（開催の2週間前ぐらい）

連絡会議にて議案や報告等の時間調整をしますので、議案や提案等は連絡会議の開催までに、こむ1会のメールアドレス等に送ってください（開催日が未定なので提案等ある方はできるだけ早く）。

④ 「受付ボランティア会議」の参加報告

ぷらざこむ1の受付ボランティアの会議が、2ヶ月に1回あり、榎本さんと東さんが参加した。

コロナ対策について、話し合われていた。2月の運営委員会内で受付ボランティア会議の議事録を閲覧できると思う（現在作成中）。こむ1会と受付ボランティア会議が、協力していく必要がある。今後の受付ボランティア会議に、こむ1会から参加する担当者をどうするかは次回以降に検討する。

3. 次回の運営委員会についての確認（日程など）

3月10日（水曜）・13時30分～15時30分・3階フリールーム・会議進行（B班）